

平成26年度当初予算 予算要求シート

整理番号	38 - 036	マスタープラン 3つの挑戦	-	マスタープラン 施策番号	1 - 7 3 - 4	局・課名	教育委員会事務局・保健給食課
区分	重点 -				- -		(単位 千円)

事業名	小学校給食調理場等整備事業	平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額
事業費		242, 419	39, 540	656, 512
関連事業	特別支援学校給食調理場等整備事業	事業期間	H ～ H	全体事業費
事業目的	今年度要求のポイント			
建築面・設備面から学校給食の衛生管理を維持・向上させ、安全・安心な学校給食を児童に提供する。		・単独棟となっている学校給食調理場の耐震診断を実施する（建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正（H25.11施行）にも対応）。 ・学校給食調理場の建築面、設備面の老朽化に対応して、改築工事等をペースアップする。		
事業内容	主要要求内容（単位：千円）			
現在使用している学校給食調理場96箇所（小学校93箇所、特別支援学校・分校3箇所）の内訳は、建築基準法上の旧耐震基準に該当するもの（昭和40年代～昭和56年）が約3分の1、新耐震基準に該当するが築20年以上経過しているもの（昭和57年～平成4年）が約3分の1、築20年未満のものが約3分の1となっており、建築面・設備面ともに全体として老朽化が進んでいる。また、平成21年に示された学校給食法第9条第1項に基づく学校給食衛生管理基準では、学校給食調理場では衛生・機能面で優れた「ドライシステム」の導入を努力義務としているが、24校で導入されているにとどまっている（残りの学校給食調理場は、ウェットシステムのドライ運用で対応している。）。 以上のことから、旧耐震基準の学校給食調理場の耐震診断を実施し、その結果を踏まえて、耐震改修等工事（設備面の大規模改修工事を含む。）を実施するとともに、他の学校給食調理場の建築面、設備面の老朽化に対応して、改築工事や大規模改修工事を実施する。また、これらの工事を実施する際にドライシステムを導入する。	項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等
	【新規】学校給食調理場耐震診断業務	0	45, 000	耐震診断業務
	【拡充】学校給食調理場改築工事	9, 400	339, 936	改築工事及びその設計業務等
	学校給食調理場耐震改修等工事	9, 400	200, 616	耐震改修・増築外工事等
	学校給食調理場給湯設備改修工事	10, 780	27, 900	給湯設備改修工事及びその設計業務
	学校給食調理場改修工事	9, 000	10, 000	小規模改修工事
	ランチルーム整備工事	0	22, 010	ランチルーム整備工事及びその設計業務
	給食用物資配送拠点整備工事	0	10, 000	整備工事設計業務
	印刷製本費、手数料等	960	1, 050	上記に伴う事務経費等
	合計	39, 540	656, 512	
スケジュール（経過及び今後展開）			その他 特記事項	
【経過（～25年度）】	【26年度】	【今後（27年度～）】		
H23: 中百舌鳥小学校給食調理場改築工事	小学校給食調理場耐震診断業務	小学校給食調理場改築工事等（2箇所/年度）		
H24: 浅香山小学校給食調理場改築工事	小学校給食調理場改築工事	小学校給食調理場耐震改修等工事（診断結果を踏まえて計画的に実施）		
H25: 新檜尾台小学校給食調理場改築工事	小学校給食調理場耐震改修等工事			